

CBWでプライマリ対応APをMesh Extenderに変更

目的

この記事では、Cisco Business Wireless(CBW)ネットワークのメッシュエクステンダとしてプライマリ対応アクセスポイント(AP)を使用する新しいオプションについて説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- Cisco Business Wireless 140AC([データシート](#)) | 10.6.1.0 ([最新のダウンロード](#))
- Cisco Business Wireless 145AC([データシート](#)) | 10.6.1.0([最新のダウンロード](#))
- Cisco Business Wireless 240AC([データシート](#)) | 10.6.1.0([最新のダウンロード](#))

概要

ネットワークのニーズが変化し、それに伴ってCBWメッシュネットワークオプションも変化し、柔軟性が向上しています。

ファームウェアバージョン10.4.1.0以前では、CBW 140AC、145AC、および240AC APは、プライマリ対応ルートAPとしてのみ使用できます。ファームウェアアップデート10.6.1.0以降、アクセスポイントをメッシュエクステンダとして設定する新しいオプションが追加されました。

プライマリ対応 (ルート) APをメッシュエクステンダとして設定する場合は、読み続けてください。

前提条件

1. プライマリ対応AP(CBW140AC、CBW145AC、CBW240AC)だけが、プライマリ対応APロールからメッシュエクステンダロールに変更できます。
2. CBWの展開はメッシュモードである必要があります。

ルートAPをメッシュエクステンダに変更する前に考慮すべき事項

- バックホールに使用される無線帯域は、Mesh Extenderに接続するワイヤレスクライアントとも共有されます。
- メッシュエクステンダとしてAPの役割を果たすプライマリ対応APは、プライマリAPの選択では考慮されません。

アクセスポイントの動作：ルートロールとメッシュロール

プライマリAPの選択 プライマリAP設定の同期 (プライマリAPフェールオーバーをサポート) プライマリAPのリセット 使用イメージ/イメージアップグレード 個々のAPの工場出荷時のリセット [Next Preferred Primary/Make Me Primary AP]に設定します	プライマリAP選択プロセスに 構成が同期されます プライマリAPとして起動できる ap1g5、イメージアップグレー ード ルール : Root Type:プライマリ対応AP 該当
--	--

ポート機能 : PoEスイッチに接続されたAP

プライマリ対応AP (メッシュAPロール) :別のスイッチに接続されたアップリンクポート、アップリンクおよびダウンリンクポートは、トラフィックを正常に転送できません。

次の表に、アクセスポイントのワイドエリアネットワーク(WAN)ポートとローカルエリアネットワーク(LAN)ポートの機能を示します。WANポートがPower over Ethernet(PoE)スイッチに接続され、APに電力が供給されます。さまざまなAPのWANポートとLANポートの両方がイーサネットブリッジングを提供します。イーサネットアップリンクポートは、アクセスポイントのPoEポートです。

APモデル	別のスイッチに接続されたアップリンクポート	アップリンクポート	ダウンリンクポート
CBW140AC		イーサネットブリ ジ ング	N/A
CBW240AC		イーサネットブリ ジ ング	イーサネットブリ ジ ング
CBW145AC		イーサネットブリ ジ ング	イーサネットブリ ジ ング

ポート機能 : パワーインジェクタに接続されたAP

次の表に、WANポートがパワーインジェクタに接続されている場合の、アクセスポイントのWANポートとLANポートの機能を示します。APがスタンドアロンのパワーインジェクタに接続されている場合、またはパワーインジェクタがスイッチに接続されていない場合、WANポートは機能を提供しません。パワーインジェクタがスイッチに接続されている場合、WANポートはイーサネットブリッジングを提供します。インジェクタもスイッチに接続している場合は、ネットワークループを回避するために、別のVLANに設定されたポートまたは別のスイッチに接続する必要があります。イーサネットアップリンクポートは、アクセスポイントのPoEポートです。

プライマリ対応AP (メッシュAPロール) :パワーインジェクタに接続されたアップリンクポートCBW145AC/CBW240ACダウンリンクポートは、トラフィックを正常に転送できます。

APモデル	アップリンクポート
-------	-----------

パワーインジェクタに接続されたアップリンクポート

インジェクタがスイッチに接続されていない

CBW140AC

適用外

CBW240AC

適用外

CBW145AC

適用外

アップリンク/ダウンリンクポート

CBW140AC

アップリンクポートのみ。

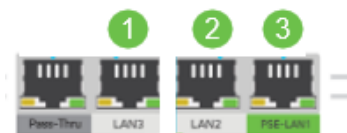


CBW145AC

アップリンクポート。

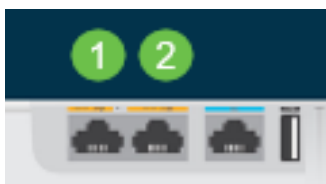


ダウンリンクポート。



CBW240AC

1. アップリンクポート
2. ダウンリンクポート



ルートAPのロールをメッシュエクステンダに変更する

手順 1

CBWメッシュネットワークで最新バージョンのファームウェアが稼働していることを確認します。上記のリンクをクリックして、APの最新のファームウェアをダウンロードします。[ファームウェアアップデートの手順をクリックします。](#)

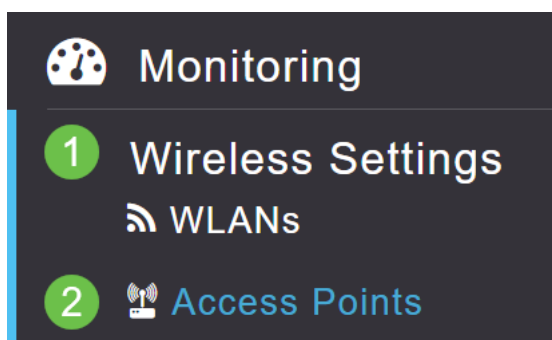
手順 2

CBWプライマリAPのWeb UIにログインします。Web User Interface(UI)の右上にある緑色の矢印をクリックして、エキスパートビューに入力します。



手順 3

[ワイヤレス設定] > [アクセスポイント]に移動します。



手順 4

この例では、メッシュ用にCBW240 APとCBW140 APが設定されています。両方のAPがルートの役割を持ちます。CBW140ACをルートからメッシュに変更します。

Action	Manage	Type	AP Role	Location	Name	IP Address	AP Mac	Up Time	AP Model
		Primary Capable	Root	default locat...	AP6C41.0E2...	10.0.0.119	6c.41.0e.22...	4 days, 02 h...	CBW240AC-B
		Primary Capable	Root	default locat...	APA453.0E1...	10.0.0.124	a4.53.0e.1f...	0 days, 00 h...	CBW140AC-B

手順 5

編集アイコンをクリックします。ポップアップウィンドウが開きます。[AP Role]の下のドロップダウンメニューをクリックし、[Mesh]を選択します。[Apply] をクリックします。この時点で、APがリブートします。これには数分かかります。ファームウェアのバージョン10.6.1.0以降が必要で、これらのオプションについてはGeneralではなくExpertモードである必要があることを簡単に確認できます。

手順 6

リブート後：

1. APはプライマリAPに加入します
2. この変更は、CBW140 AP Typeが *Mesh Extender* と表示され、AP Roleが *Mesh* に変更され、Access Pointsテーブルに反映されます。
3. APは、APが最初にインストールされたローカルLANに接続されたままです
4. メッシュエクステンダは、デフォルトでメッシュバックホールに5 GHz帯を使用しますが、2.4 GHz帯も使用できます。

Mesh ExtenderをルートAPに戻します

このプロセスを逆にする場合：

1. 必要なメッシュバックホールスロットを選択します。
2. APのタイプを[Mesh Extender]から[*Primary Capable*]に変更します。APにプッシュされ、リブートされます。
3. リブート後、APはプライマリAPに加入します。
4. 新しいタイプの変更が[Access Points]テーブルに反映されます。

APをAPモードに戻す必要があるが、プライマリAPが使用できない場合は、リセットボタンを使用してアクセスポイントを工場出荷時にリセットする必要があります。工場出荷時のリセット時に、[AP Role]が[*Root*]に設定され、[Type]が[*Primary Capable AP*]に設定されます。

結論

ここで、ルートAPをMesh Extenderに変更し、必要に応じてプロセスを反転する方法を理解します。